

岐阜県消防操法大会で揖斐川町消防団(大深分団)が三位入賞!

8月5日(日)、郡上市明宝の「めいほうスキー場」で、第67回岐阜県消防操法大会が行われ、揖斐川町消防団(大深分団)が見事に三位入賞を果たしました。

また、指揮者の山田一郎団員が優秀番員賞を併せて受賞しました。

この大会は、岐阜県内各消防協会の大会を勝ち抜いた28隊が出場して行われました。

厳しい暑さの中での大会でしたが、大深分団は、日頃の訓練の成果を存分に発揮し、素晴らしい操法を披露しました。

入賞、おめでとうございます。



▲小型ポンプ操法を披露する揖斐川町消防団大深分団

**中学生議会開会
生徒らが町政に提言**

8月10日(金) 揖斐川町役場議場で、中学生議会が行われ、町内4校の代表19人が議員になって町政について提言を行いました。

第1部は、「学校の誇りに関わる提言」として、日常生活の向上を目指す日々の取り組みが発表されました。

第2部は、「誇りある揖斐川町をより発展させるための提言」として、中学生ならではの活発な提言が行われ、町政への関心の高さが見られました。

答弁をした富田町長は、「町の今と未来を思う心をうれしく頼もしく思います。今日の提言を踏まえて、第2次総合計画を推進したい」と括り、議長を務めた揖斐川中学校3年の若原琴音^{わかほらこと}さんは議会をふり返り、「5年後、10年後も住みたい町になるよう、これからも地域に貢献していきたい」と話しました。



▲町への提言をする中学生のみなさん

お十七夜コンサート

8月17日(金)、谷汲山華厳寺境内仁王門前で、「お十七夜コンサート」が開催されました。

このイベントは、参道の商店主らでつくる谷汲門前街並づくり委員会が、町や参道の賑わいを取り戻そうと始めたもので、今回で13回目を迎えました。

今回の出演者であるジャズバンドのラブル☆は、岐阜県出身のサクソ奏者である小島勇司さんが率いており、多くのご当地ソングを制作しています。

コンサートでは、幻想的にライトアップされた仁王門前で、ジャズアレンジをしたジブリの曲や童謡など多くの曲を演奏し、訪れた観客は大いに盛り上がっていました。



▲ジャズコンサートの様子

小学生県外派遣事業

8月17日(金) から21日(火) まで、町内の小学校6年生20人が県外派遣研修で北海道芽室町と高知県宿毛市を訪問しました。

研修先では、地元の小学校との交流の他、芽室町ではホームステイ先での農業体験やゲートボール体験などを、宿毛市では中央市場で漁業についての学習や郷土料理体験などを行いました。研修を終えた児童は、それぞれの土地の文化や産業に触れるなど、普段の生活では味わうことができない貴重な体験をしたことで、自信に満ち溢れた表情をしていました。



▲宿毛市で魚のさばき方を学ぶ



▲芽室町発祥のゲートボール体験



▲いび祭子ども歌舞伎保存会



▲種本中瀬太鼓踊り保存会

8月19日(日)、地域交流センターはなももで揖斐川伝統芸能フェスティバルが開催されました。

このイベントは、町の伝統文化に理解を深め、継承につなげるために毎年開催されています。

第1部は、いび祭子ども歌舞伎保存会が「源平咲分牡丹島 重忠館の段」を堂々と披露しました。

第2部は、上ヶ流太鼓踊り保存会と種本中瀬太鼓踊り保存会がそれぞれ特徴のある太鼓踊りを披露しました。

第3部は、小宮神白山神社神楽保存会と黒田神楽保存会がそれぞれの願いが込められた神楽舞を披露しました。

その他、乙原歌舞伎保存会の衣装や伝統文化の展示もあり、多くの人が町の伝統芸能・文化の素晴らしさを身近に感じることができました。

揖斐川伝統芸能
フェスティバル

ハロウィンジャンボ5億円
(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ5千万円
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

10月1日(月) 2種類同時発売!

発売期間 10/1(月)~10/23(火)

公益財団法人岐阜県市町村振興協会




▲黒田神楽保存会



▲上ヶ流太鼓踊り保存会



▲小宮神白山神社神楽保存会



▲清掃奉仕作業の様子

8月22日(水)、町内の水道業者で組織されている揖斐川町水道組合が、地域貢献活動の一環として毎年実施している水道施設の清掃奉仕作業を行いました。

この日は水道組合から14人のボランティアが参加し、早朝からお昼まで、揖斐地区と小島地区に設置されている上水道配水池とその周辺の草刈りを行いました。

皆さんの協力によって施設周辺は、美しくなりました。

清掃奉仕作業に参加された皆さん、ありがとうございました。

水道施設を美しく
清掃奉仕作業



▲リトアニア合唱団による演奏

8月22日(水)、地域交流センターはなももで、リトアニアのビルニュース大学カウナス校女声合唱団「ベニ・ガウデーレ」による演奏会が行われました。

岐阜県とリトアニアは、県出身の偉人杉原千畝を縁に交流を進めており、今回、岐阜大学などの招聘により、揖斐川町その他、全国5か所で演奏会が行われました。

演奏会では、「リトアニアの森と湖の歌声」、「リトアニアとラトビアの民謡」と題して17曲を披露したほか、岐阜大学コーラスクラブの合唱や坂内小中学校の和太鼓、町内の中学校の混声合唱、いびがわ女声コーラスの演奏による交流も行われ、会場の観客は美しい歌声に聞き入っていました。

リトアニア親善合唱交流
演奏会

**都市・地域再生等利用区域
指定伝達式**

8月22日(水)、揖斐川町役場公室で、
柏川が美濃地方で初めて、都市・地域
再生等利用区域に指定されたことに伴
う伝達式が行われました。

この指定は、県が町からの要望を受
けて行われたもので、柏川の一部区間
(瑞岩寺橋より約130m下流からの
約500mの区間)において河川空間
の民間開放を行い、民間事業者等に
よる出店やイベント等の開催が可能とな
ります。

伝達式では、井上清敬県土整備部河
川課長、坂口達也揖斐土木事務所長、
富田町長が出席し、井上課長から富田
町長へ登録通知証の伝達が行われまし
た。



▲登録証伝達の様子

**災害から命を守る
揖斐川町・揖斐郡消防協会
合同総合防災訓練**

9月2日(日)、大地震を想定した揖
斐川町・揖斐郡消防協会合同総合防災
訓練が、北和中学校を主会場として行
われました。

訓練は、静岡県駿河湾から紀伊半島
南側の海域を震源とする南海トラフ地
震が発生したことを想定したもので、
町全体で約1万人が地域の集会場等に
避難するなど訓練に参加しました。

主会場では、電気・水・ガス・道路・
通信などの関係機関による復旧訓練
や、女性防火クラブによる初期消火訓
練、日本赤十字赤奉仕団による炊き出
し、災害救助犬による人命救助訓練、
災害救援ボランティアによる負傷者搬
送訓練など、さまざまな訓練が行われ、
地域が一体となって災害時の体制や連
携を確認し、防災意識を高めました。



▲負傷者搬送訓練の様子

停電時における音声告知放送受信機の電源確保について



台風や大雨等における自然災害によって停電が発生すると音声告知放送の受信機が作動しなくなります。

皆さんの家庭に設置されている受信機は、停電時にアルカリ乾電池で作動することができます。

停電時に備えて、アルカリ電池を準備していただくとともに、受信機をご確認ください。

- ※停電時のみ電池を入れてください。
- ※単三アルカリ乾電池4本が必要です。
- ※動作時間の目安は、待機時で12時間、連続放送で2時間です。

【お問い合わせ先】
揖斐川町放送通信センター TEL 21-3171